

第 81 年度 第 2 回 国内部委員会

5 月 22 日 10 時 30 分からホテルマリナーズコート東京にて開催し、令和 8 年度労働協約改定闘争の経過ならびに令和 8 年度沿海・港湾部門年間臨時手当要求について審議を行った結果、絶対多数で承認された。

委員会は 10 時 30 分現在の出席者総数 137 人（常任役員 3 人、本人出席 83 人、委任出席 51 人）にて成立が確認され、議長に松林烈忠長崎支部次長、副議長に大城俊哉アジアパシフィックマリン株式会社職場委員を選出し、議事録署名人の指名ならびに書記の任命を行い、議事に入った。

報告事項

平岡英彦国内局長から、令和 8 年度労働協約改定闘争の経過（内航二団体、全内航、日本カーフェリー労務協会、中・四国旅客船集団）および第 81 年度第 1 回国内部委員会以降の主要な国内部の活動について報告を行った。

はじめに労働協約改定闘争の経過に対する質疑応答を行い、代議員から内航ならびに日本カーフェリー中央交渉での大幅なベースアップや長期乗船慰労金、代替燃料船手当に対する感謝の意見が多く出され、本部側の答弁により理解を深めた後、採決に移り、絶対多数で承認された。

続いて国内部の活動報告について質疑応答を行い、代議員から▽日本カーフェリーの定年年齢引き上げに対する謝意▽南海フェリーの航路存続に向けた現状と今後の活動一について意見が出され、本部側の答弁により理解を深めた。

審議事項

中央執行委員会を代表し、平岡英彦国内局長から令和 8 年度沿海・港湾部門年間臨時手当要求について提案し、審議の結果、提案通り絶対多数で承認された。

最後に、田中伸一組合長代行から閉会のあいさつを受け、12 時に終了した。

「海員だより」